

NBR Times

(株)日本バイオリサーチセンターの「旬な話題」を発信する、コミュニケーションマガジン

www.nbr.co.jp

June 2023



アンブレラスカイ

みどころ情報

・内藤記念くすり博物館

NBR通信

・第50回 日本毒性学会学術年会

・第66回 日本腎臓学会総会

○読者プレゼント

○編集後記

○NBR Study Navi

日本バイオリサーチセンターHP
<https://www.nbr.co.jp>



vol.039

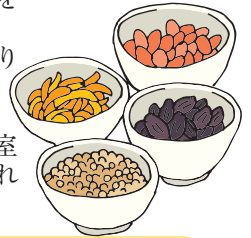
NBRから車で30分程のところに『内藤記念くすり博物館』があります。くすりの博物館だなんて、ワクワクしますね。以前はNBRの新入社員研修の一環で、お伺いしていたこともありました。今回、実際に編集部員がお邪魔してきましたので、その内容をご紹介します！

内藤記念くすり博物館



「内藤記念くすり博物館」ホームページより写真引用 (eisai.co.jp)

岐阜県各務原市にある「内藤記念くすり博物館」は、「くすりの歴史と文化を伝え、健康科学に貢献する」ことをコンセプトに、1971年にエーザイ株式会社川島工園内に内藤豊次によって開設されました。日本初の「くすり」に関する総合的な博物館として、医学・薬学の歴史、健康科学に関する知識の普及、特にくすりの正しい使い方についての啓発活動を行っています。展示内容は、医学、薬学、歴史、文化など多岐にわたります。合掌造りをモチーフにした博物館・本館を背に右側に薬木園、左側に薬草園が広がります。薬の博物館ということで難しい資料ばかり置いてあるのかと思いきや、子供向けの工作のイベントや薬草栽培教室なども開催されていて、小さい子供でも気軽に薬草や自然と触れあうことができます。来館された方の中には家族連れも多く、子供が広い薬草園で外遊びをしていたのが印象的でした。



薬用植物園



広い薬草園・薬木園では、数多くの薬用植物が栽培され、約700種類が一般公開されています。日本薬局方に収載されている植物を中心に、シャクヤク、センナ、オタネニンジン、医薬品原料植物であるペラドンナ、ジギタリスなどを見ることができます。また、温室ではカカオやバナラをはじめ、香木として知られるニューコウジュ、ビャクダンなどが栽培されています。四季折々に美しい花を咲かせ、実をつけ、時には様々な香りにより来館者に安らぎの空間を提供しています。季節によって見どころが変わるため、来館する時期によって、違った風景を楽しむことができます。フェンスで囲まれた有毒植物コーナーもあり、トリカブトやチョウセンアサガオなどの有毒植物を見ることができます。

薬草園で見られる植物



「リンドウ」

用途：苦味健胃
主要成分はゲンチオピクロシドです。



「ハネセンナ」

用途：瀉下
キャンドルブッシュとも言われ、健康食品として利用されていますが、全草にセンシドを含み、摂取量が多いと下痢を起こすなどの副作用が報告されています。



「カイトウメン」

用途：通経、繊維原料、綿油
ワタは繊維原料として有名ですが、種子から採れる油はマーガリンやロウソク、石鹸の原料になります。

薬木園で見られる植物



「カリン」

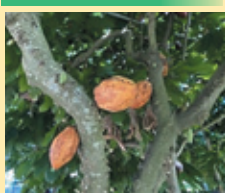
用途：鎮咳、疲労回復
生薬名は木瓜(もっか)といい、主要成分はリンゴ酸です。果実は強い芳香がありますが、堅く酸味が強いので生食はできません。砂糖漬けや果実酒として疲労回復に、煎じて咳止めとして使います。



「ダイダイ」

用途：健胃
成熟した果皮は生薬の「トウヒ」です。果実は冬を越しても落ちず、春になるとまた緑色になり、秋になると再びダイダイ色になります。

熱帯有用植物温室で見られる植物



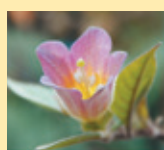
「カカオ」

用途：食用、基材
生薬名はカカオ脂で、カカオの種子から抽出します。融点が34℃前後で人体の体温に近く、よく溶けるので坐薬の基材に用いられます。カカオから脂を絞った残物がココアになります。

毒と薬

薬は使い方を誤ると有害な作用が表れるため、決められた用法・用量を守って服用することが大切です。それとは反対に、毒として扱われるものの中には、使い方によっては有用なものが知られています。毒を薬に変えてしまう、人類の知恵に驚かされます。

「ペラドンナ」



例えば、「ペラドンナ」は毒草ですが、昔は女性が瞳孔を拡大させるための散瞳剤として、実の抽出物を使用していました。それを目にたらずと瞳孔が開いて大きく輝いてみえることから、イタリア語で「美しい貴婦人」を意味する *bella donna* の読みそのままで、「ペラドンナ」と名付けられました。全草に毒を含んでいて、葉の表面に浮いた油に触れるとかぶれが生じます。毒の主成分はトロパノアルカロイドで、中毒を起こすと、嘔吐や散瞳、異常興奮を起こし、最悪の場合には死に至ります。用法・用量を守って使用すれば有用であり、成分の強い根茎と根はペラドンナコンという薬品として日本薬局方にも収められています。ペラドンナコンに含まれるアトロピンは硫酸アトロピンの原料になります。

「トリカブト」



「トリカブト」は、ドクウツギやドクセリと並んで日本三大有毒植物の一つとされ、毒矢として熊狩りに使われるほどの猛毒をもっていますが、子根を弱毒処理することで「附子(ぶし)」として漢方薬の生薬として使われます。中国医学では新陳代謝機能の減衰した者を回復させ、身体を芯から温め、強い利尿作用があり、麻痺、疼痛を治すとされています。「附子」は「ぶす」と呼ばれることもあります。容姿が醜いことを「ブス」というのは、トリカブトの毒を服用すると顔の筋肉が麻痺して無表情になることから、トリカブト中毒を起こした者の表情を指したのが由来とされています。また、有名な狂言「附子」の中に、壺の中の砂糖を食べられないように、砂糖を毒だと嘘をつく話がありますが、この話に出てくる毒もトリカブトです。

展示館

薬草園に隣接する博物館には、医薬の歴史に沿ってさまざまな資料が展示されています。博物館受付から入ってすぐ「白沢(はくたく)」の像が目に入ります。白沢は中国の想像上の神獣で、6本の角と9つの眼を持ち、人語を解するといわれています。麒麟や鳳凰と同様、徳のある政治家の時に出現し、病魔を防ぐ力があると信じられていました。このことから、江戸時代には白沢の絵を持っていれば道中の災難や病気を免れると、旅には欠かせないお守りとなっていました。コレラ流行時も白沢の絵が売り出され、人々はこれを身につけたと言われていました。

ちなみに、新型コロナウイルスの流行時によく見かけた「アマビエ」(こちらの博物館での展示はありません)は日本の妖怪であり、「白沢」と同様に疫病退散のご利益があるといわれています。不安な状況のときに神獣やマスコットなどに願いをかけるという人々気持ちは、医療が発達した現代でも江戸時代の人々と変わらないのですね。

また、『神農本草経』などの本草書や漢方のバイブルである『傷寒論』、世界で初めて全身麻酔による外科手術を行った江戸時代の医師・華岡青洲に関する資料なども展示されています。

このほか企画展示室(2F)では、毎年学芸員が調査研究したテーマで資料紹介を行う企画展を実施しています。



白沢像

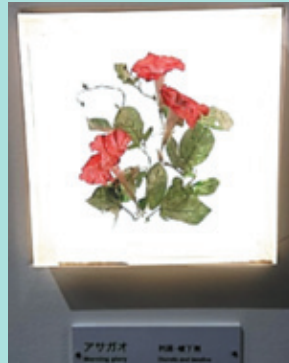


厚労省の公式Twitterに掲載されたアマビエ
Twitter/MHLWitter

館内の展示



びわようとう
枇杷薬湯売り人形



アサガオ



薬用動物



しんのう 「神農」

中国の伝説に登場する神農(しんのう)は、頭は牛、体は人間という姿をしており、一日に百草をなめて、七十毒に遭いながらも(諸説あり)、薬用になるものを探し求めたと言われています。70%という高確率で毒に遭うなんてかなり危険性が高いですね。

現在でも大阪の道修町(とせうまち)では「神農さん」と親しみをこめて、薬業の神様として祭られています。博物館では、たくさんの健康にまつわる資料が展示されていてとっても楽しめました。他では見られないような貴重なものや、中にはぎょっとするような展示物もあり、医学に興味がない方でも楽しめるのではないのでしょうか。また、お子様向けのイベントも開催されているようですので、ファミリーで訪れるのもお勧めです。

神農「歴代君主図像」より/国立国会図書館蔵



「第50回 日本毒性学会学術年会」

期間/2023年6月19日(月)~21日(水) 会場/パシフィコ横浜

日本毒性学会にて「ランチョンセミナー」「ポスター発表」「ブース展示」を予定しています。是非、お立ち寄りください!

●ランチョンセミナー<テーマ>

ミニブタが可能にした動脈硬化の新たな治療戦略

講師 黒尾 誠 先生 (自治医科大学 分子病態治療研究センター 抗加齢医学研究部 教授)

●ポスター発表<演題名>

マウス蝸牛細胞株HEI-OC1細胞を用いた薬剤誘発性 *in vitro* 聴覚毒性アッセイ系の確立

「第66回 日本腎臓学会総会」

期間/2023年6月9日(金)~11日(日) 会場/パシフィコ横浜

日本腎臓学会にてポスター発表をしました。

<演題名> マウス虚血性急性腎障害モデルの線維化レベルの比較

読者
プレゼント

プリンの聖地？岐阜で生まれた 『料亭 和プリン』をプレゼント!!



『料亭 助六』 [https:// yz11d.hp.peraichi.com](https://yz11d.hp.peraichi.com)

お店に訪れた客の8割以上がお土産でお持ち帰りするという『料亭 和プリン』は金箔入りで見た目も華やか。ふたを開けた瞬間から、お出汁の香りが鼻腔をくすぐります。口に入れば滑らかな舌触りで、濃厚だけど甘すぎない上品な味わいと旨み！黒豆のアクセントと豆乳の優しさも相まった「料亭の味」を是非ご堪能下さい。



第1回日本プリンアワード2022というイベントが、昨年「ぎふ信長祭り」内で開催されました。今回の読者プレゼントは、日本プリンアワードに参加した精鋭20店舗の中から、銀賞を受賞した『料亭 和プリン』6個セットです！

昭和25年に岐阜県大垣市で創業した伝統ある老舗『料亭 助六』が、なめらかプリンの生みの親で岐阜を代表するパティシエの所浩史シェフと開発したのは、お出汁のジュレがほんのりしょっぱく、プリンの甘さと絶妙にマッチした新感覚のプリン！塩味と甘みの塩梅がちょうどよく、あまり類をみない「和」なデザートです。

応募方法：弊社HPからご応募ください。 <https://www.nbr.co.jp>

締め切り：2023年8月末

NBR Study Navi

最新のNaviはHPでもご覧いただけます。
ご不明点等、どんなことでもお気軽にお問い合わせください♪

NBR Study Navi 第79号 NBRの線維化試験

皮膚や内臓に膠原線維（コラーゲン）などの細胞外基質と呼ばれる物質が増加し、皮膚や内臓が硬くなる現象を「線維化」あるいは「硬化」といいます。今回は特に皮膚、肝臓及び腎臓の線維化モデルをご紹介します。

NBR Study Navi 第80号 AKI to CKD移行マウスモデル

急性腎障害（Acute Kidney Injury : AKI）から慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease : CKD）に移行するマウスモデルをご紹介します。データの詳細については「第 66 回日本腎臓学会総会」にて発表予定です。



●表紙コメント

アンブレラスカイ
岐阜県大野町にある道の駅「パレットピアおおの」では、色とりどりの傘の花が青空を彩っていました。半透明の傘を通して地面に映る鮮やかな影に、小さな子供たちがはしゃいでいるのが微笑ましかったです。施設構内には地元生産者から届く新鮮野菜、花などの販売所や芝生広場もあり、多くの家族連れでにぎわっていました。
Location:道の駅「パレットピアおおの」

編集後記

今回は内藤記念くすり博物館についてご紹介しました。全国各地、様々な博物館がありますが、くすりについて特化し、これほど様々な資料がある博物館は他にはないのでしょうか。また、薬草園では春から夏にかけて薬用植物の花々の見頃になってきます。この機会にぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。今後ともご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

弊社は「AAALAC International」の認証を取得しています。



弊社は、一般財団法人日本医薬情報センター 動物実験認定施設です
nbr 株式会社日本バイオリサーチセンター
<https://www.nbr.co.jp/>
〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地
TEL 058-392-6222 (代表) FAX 058-392-2432